

令和8年度予算案のEBPM「児童相談体制整備事業費」

課題データ

児童虐待は、こどもの心身に深い傷を残し、成長した後においても様々な生きづらさにつながり得るものであることや重大な被害を生じさせる場合があり、児童虐待の予防や早期発見は、社会全体で取り組むべき喫緊の課題となっている。ただ、行動に移す心理的コストや誤認だった際のリスク、関係悪化やプライバシーの懸念などから児童虐待の発見が遅れる場合もある。

令和元年度からは覚えやすい3桁番号（189）を虐待対応ダイヤルとして通話料を無料化し、さらなる虐待の予防及び早期発見を実現したところ。併せて、子育てに関する悩みなどを相談できる専用窓口として相談専用ダイヤルを開設し、令和3年度には相談専用ダイヤルも通話料を無料化するなど、利用者の利便性の向上を促進している。



事業

児童相談体制整備事業費

令和8年度当初予算案：2.5億円

児童虐待や子育ての悩みについて、ためらわずに相談等できるインフラという意識を醸成することで、児童虐待の予防や早期発見を目的とする。

①虐待対応ダイヤルは通話料無料で運用しており、利便性向上に向けて相談体制の安定化を図る
②子育てに関する悩みなどを相談できる専用ダイヤルを開設し、通話料の無料化の整備を進める



※アウトプット、アウトカムの（）内は直近の実績値

アウトプット

児童相談所虐待対応ダイヤルへの接続率
(入電数に占める児童相談所への接続数の割合)
2026年度 90.9%
(91%)

短期 アウトカム

—

中期 アウトカム

—

長期 アウトカム

児童虐待の予防、早期発見

EBPM指標

目標

こども・若者の権利保障と
その視点の尊重、意見聴取と対話

良好な成育環境の提供

すべてのこども・若者の
健やかな成長の保障

結婚・子育てに関する希望の形成と
その実現を阻む隘路の打破

こども・若者の幸福な生活 / 少子化トレンドを大きく変える / 未来を担う人材の育み